



FLEXPPOOL™

マルチクラウド環境で帯域ライセンスを共有できるサブスクリプションライセンス

FLEXPPOOLは、A10の仮想アプライアンスやベアメタル製品の帯域ライセンスをライセンスマネージャー上で一括管理し、必要な帯域幅を分割して各インスタンスに割り当て、再配分することができます。FLEXPPOOLは、インスタンスの帯域ライセンス幅をサービスの使用状況やインスタンスの負荷状況などに合わせていつでも動的に配分することができるため、過剰な設備投資を削減し、より自由度の高い容量設計を実現します。

需要に合わせたサービス

現在、企業や組織において、プライベートクラウド、パブリッククラウド、およびハイブリッドクラウドへの移行が進んでいます。クラウド環境の帯域設計は困難です。多くの企業はリソースの可用性を確保するためにIT設備を過剰に確保している一方で、また別の企業は将来の成長を過小評価してサービス停止の危険にさらされています。どちらのアプローチも、大幅なコスト支出が必要となり、調達サイクルが長くなるため、ITの俊敏性は損なわれ、ビジネスオペレーションは制約されます。

これからは、オンプレミスやクラウドに渡って柔軟性や俊敏性、スケーラビリティを向上させることができるよう、ソフトウェアベースでサービスを拡大することが求められます。従来の物理アプライアンスは、仮想およびベアメタルのソリューションによって補完されるようになることで、アプリケーションの可用性、可視性、機密資源のセキュリティが保証されます。A10は、アプリケーション配信

コントローラやキャリアグレードのネットワーキング、統合型ファイアウォールなど、セキュアアプリケーションサービスを幅広く提供します。

A10のFlexPoolは、動的なクラウド環境における帯域のニーズに対応できるソリューションです。管理者は、大容量の帯域ライセンスプールを細かく分割して、需要に応じて割り当てることができます。ソフトウェアインスタンスをオンプレミス、プライベートクラウド、またはパブリッククラウドのインフラストラクチャに、オンデマンドでプロビジョニングできます。

この帯域プールは、ライセンスの生成、動的な割り当て、および使用状況の監視を行うA10のGLM（グローバルライセンスマネージャー）上で管理します。FlexPoolは、ライセンス付与の仕組みをシンプルにすることで、ユーザーがインスタンス単位で帯域幅を設定でき、過剰な設備投資を防止します。また、ソフトウェアサブスクリプションモデルのため、初期投資を最小限に抑えることができます。

プラットフォーム



お問い合わせ

WEB
a10networks.co.jp/flexpool

連絡先
a10networks.co.jp/contact

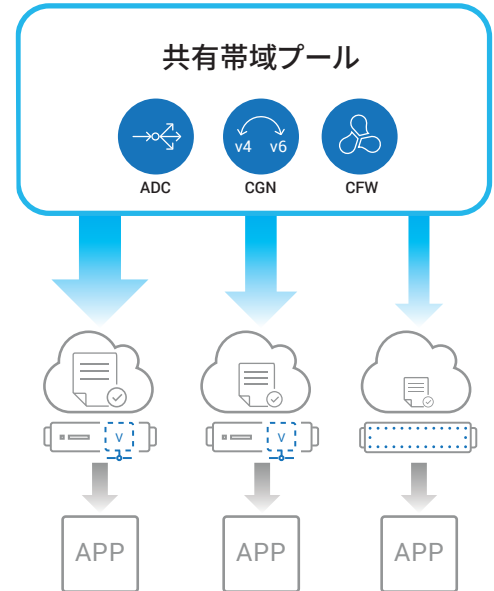
特徴



柔軟な帯域配分

動的割り当てによりアジリティの向上

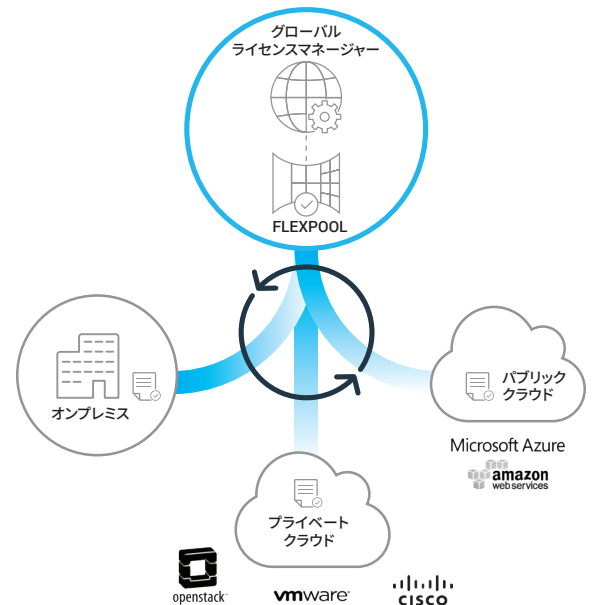
変化するユーザーの要件、進化するインフラストラクチャの設置場所、複雑なトラフィックプロファイルといった状況の中、セキュアアプリケーションサービスを小さいものから大規模なものまで適切に割り当てる必要があります。FlexPoolは、オンデマンドで利用可能な帯域幅の共有プールを確保しており、必要に応じて必要な時間帯のみ割り当てることができます。帯域を自動的に割り当てることで、企業や組織はアジリティが向上すると同時に、リソース不足を未然に防ぎます。



投資保護

オンプレミス、クラウド、ハイブリッド環境間のライセンスポータビリティ

企業は従来のデータセンターとクラウドが混在したインフラストラクチャへの移行の過渡期にあります。A10は、セキュアアプリケーションサービスをこれらすべての環境に移植することができます。FlexPoolでは、Thunderのソフトウェアベースソリューションが提供する全機能を場所を選ばず、同じように構成していくことができます。アプリケーションとワークロードは、オンプレミス、プライベートクラウド、パブリッククラウド、またはこれらの組み合わせられた環境の間を移動することになりますが、A10はこれらの境界を超えて必要な帯域を利用できる環境を実現します。急拡大する一時的なワークロードを組織全体でグローバルにバランスを取ることで、過剰な設備投資を最小化することができます。

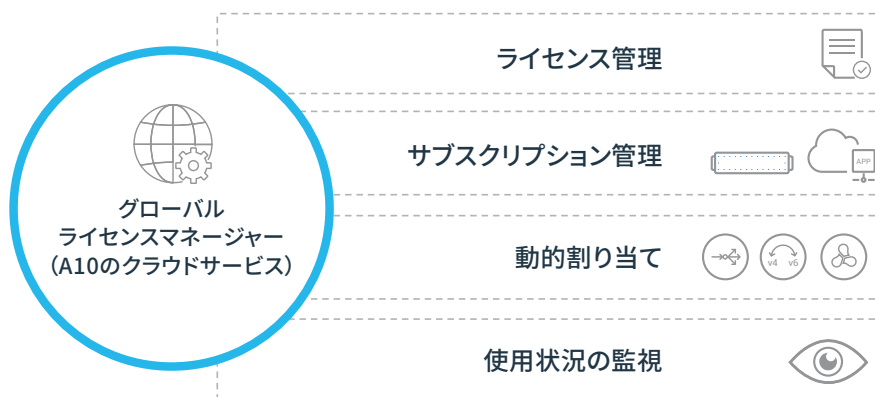




オペレーションの簡素化

インフラストラクチャの管理を自動化した上で完全な可視化を実現

ITリソースの費用の大部分は現行の運用に関係するものです。インフラストラクチャの管理を簡略化することは必須です。FlexPoolを利用すると、潜在的に何千ものインスタンスを管理する必要はなく、共有の帯域プール1つのみの管理でよい。そのため、運用の変更を最小限に抑えられます。ハイブリッド環境でのデプロイで使用する関連する個別ライセンスは、同じ帯域プールから自動的に生成されます。サブスクリプション管理機能は、自動更新オプションや詳細なライセンス期限の通知によりアクティベーションを管理し、サービスの停止を防止します。GLM (グローバルライセンスマネージャー) のダッシュボードから、使用状況の監視、分析、および監査証跡の取得が可能で、完全な可視性が保証されます。



柔軟な処理能力



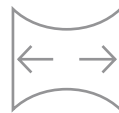
フローティング ライセンスプール

従来のビジネスモデルではサブライアンス毎にライセンスを購入し、そのライセンスを対象のデバイスに適用する必要がありました。複数インスタンスを構成する場合、この作業は困難になります。FlexPoolを利用すると、ノードが固定されていないため、IT部門は中央の帯域プールだけにライセンスを付与するだけで、追加ライセンスなしで、プールの帯域幅をサブライアンスに割り当てることができます。ライセンスは、手作業か自動プロセスでチェックアウトして元に戻すことができます。簡単な自動更新オプションで、同一の有効開始日と有効期限がすべてのインスタンスに適用され、ライセンス管理を簡単に行うことができるようになります。



ユーザー定義の 帯域配分

アプリケーションやワークロードの違いにより、トラフィックレベルは異なります。FlexPoolを使用すると、小さい帯域の25 Mbpsから大規模な帯域幅の40 Gbpsのインスタンスまで、1 Mbps単位でライセンスを細かくプロビジョニングできるため、A10のセキュアアプリケーションサービスと帯域要件を完全に一致させることができます。さらに、A10のアプリケーション配信パーティション (ADP) を利用すると、各インスタンスを最大32の独立したドメインに分割することが可能となり、究極の柔軟性を実現します。



柔軟なインスタンス サイズ変更

一時的なワークロードの変動に対応するため、個々のインスタンスの帯域を動的に拡大し、また未使用の帯域をプールに返却することができます。FlexPoolは、1Mbps単位の細かい追加に対応しています。これにより、ソフトウェアベースのA10のセキュアアプリケーションサービスの持続的な配信を実現します。追加のライセンスは中央プールからチェックアウトして、スループットの要求の増大や、アプリケーションのデプロイ数が増加した場合、いつでもプロビジョニングして、構成することができます。各プールに関連付けるインスタンスの数を制約する上限はありません。



スケーラブルな プール帯域

ライセンスプールの帯域は、10 Gbps、50 Gbps、100 Gbpsごとで追加することができます。プールは、サービスを中断せずに任意に組み合わせる追加できます。各プールは複数のユーザーとアプリケーションをサポートします。FlexPoolは、帯域プール全体を監視すると同時に、割り当て済帯域プール全体の可用性を保証します。

迅速なデプロイ



グローバルライセンス マネージャー

FlexPoolは、A10 Networksのクラウドサービスであるグローバルライセンスマネージャー（GLM）で管理することができます。GLMにより、ライセンス管理、帯域幅のプロビジョニング、監視、および分析を一元的に行うことが可能です。管理者は、GLMのポータルを利用してライセンス、インスタンス、およびユーザーアクセスを管理します。利用レベル、有効なインスタンス、ソフトウェアバージョンなどの多数のパラメータで、デバイスレベルの可視化を実現しており、監査証跡の取得が可能です。



マルチクラウド対応の ポータビリティ

A10の vThunder®およびベアメタルは、従来のようなオンプレミスやデータセンター、vRO、Cisco、OpenStackベースのオーケストレーションツールを使用したプライベートクラウド、Amazon Web Services、Microsoft Azureなどのパブリッククラウドでの連携実績があります。FlexPoolにより、これらのさまざまな環境で同時に帯域を割り当てることができるようになります。

セキュアアプリケーションサービスプラットフォーム

アプリケーション配信コントローラ / ロードバランサ

vThunder ADC、ベアメタルADC

vThunder ADCやベアメタルADCを使用することで、アプリケーションを最適化、高速化し、セキュリティを確保できます。ウェブサーバーやインフラストラクチャサーバーをシームレスに拡張することで、ビジネスの継続性を保証し、アプリケーションを高速化して運用を効率化し、インフラストラクチャを保護して中断のないオペレーションを実現します。

IPV4枯渇対策 / IPV6移行

vThunder CGN、ベアメタルCGN

vThunder CGNやベアメタルCGNは、IPv4アドレスの枯渇対策や、IPv4からIPv6アドレスへの移行を実現します。IPv4や他のセキュアアプリケーションのテナントサービスをオンデマンドで迅速かつ効率的に自動構成することにより、IPv4/IPv6の互換性問題によるビジネスの中断を回避できます。

集約型ファイアウォール

vThunder CFW、ベアメタルCFW

vThunder CFWやベアメタルCFWでサポートされているデータセンターファイアウォール機能により、重要な資産を攻撃から保護することができます。IPSec VPN機能もサポートされており、大規模なデータ暗号化による通信の保護を実現します。Gi/SGiファイアウォールによるモバイルコアインフラストラクチャの保護や、セキュアWebゲートウェイでSSL通信に隠れた脅威を可視化する機能も利用可能です。セキュリティ機能と同時に利用できるADCやCGN機能も含まれており、機能を統合することでTCOを削減することができます。

パッケージ

パッケージレベル	スタンダード：ADC/CGN アドバンスド：CFW
提供形態	vThunder ベアメタル
ライセンス	10G、50G、100G
サブスクリプション期間	1年、または3年
サポートバージョン	ACOS 4.1.1-P4以上

A10 Networks / A10 ネットワークス株式会社について

A10 Networks (NYSE: ATEN) はセキュアアプリケーションサービスにおけるリーディングカンパニーとして、高性能なアプリケーションネットワークソリューション群を提供しています。お客様のデータセンターにおいて、アプリケーションとネットワークを高速化し可用性と安全性を確保しています。A10 Networks は2004年に設立されました。米国カリフォルニア州サンノゼに本拠地を置き、世界各国の拠点からお客様をサポートしています。

A10 ネットワークス株式会社は A10 Networks の日本子会社であり、お客様の意見や要望を積極的に取り入れ、革新的なアプリケーションネットワークソリューションをご提供することを使命としています。

詳しくはホームページをご覧ください。

URL : <http://www.a10networks.co.jp/>

Facebook : <http://www.facebook.com/A10networksjapan>

LEARN MORE
ABOUT THE A10 NETWORKS

お問い合わせ：

a10networks.co.jp/contact

A10 ネットワークス株式会社

www.a10networks.co.jp

©2017 A10 Networks, Inc. All rights reserved. A10 Networks, the A10 Networks logo, ACOS, Thunder and SSL Insight are trademarks or registered trademarks of A10 Networks, Inc. in the United States and other countries. All other trademarks are property of their respective owners. A10 Networks assumes no responsibility for any inaccuracies in this document. A10 Networks reserves the right to change, modify, transfer, or otherwise revise this publication without notice. For the full list of trademarks, visit: www.a10networks.com/a10-trademarks.

Part Number: A10-DS-15129-JA-01 DEC. 2017